

第3回全国国立病院機構臨床工学技士協議会学術大会

【会期】

2016年04月17日(日)

【会場】

国立病院機構 東京医療センター(東京都東京都目黒区東が丘 2-5-1)

【大会長挨拶】

この度、第3回全国国立病院機構臨床工学技士協議会学術大会を平成28年4月17日(日)東京医療センターにて開催する運びとなりました。今回の学術大会のテーマは「温故知新」としました。我が国で臨床工学技士が誕生し早、四半世紀を経過し、全国各施設での臨床工学技士の活躍はめざましいものがあると思います。一方、現在私たちの職場環境や教育などまた知識や技術というものは先人たちからの伝授があってこそ成り立っていると考えこのテーマに至りました。

特別講演は、元三井記念病院 ME サービス部、臨床工学技士長の武田正則先生にお願いしております。武田先生は我が国では最も早期から現在の臨床工学部門の組織を立ち上げられましたが、その時代の経緯や、時代とともに変化する業務内容、また新人を含めた教育体制などの歴史を語ってもらい、今後の臨床工学部門のありかたなどを会員の方々に考えて頂ける時間になればと思っています。

シンポジウムは院内における臨床工学技士はスペシャリストかジェネラリストどちらが必要とされるのか?としました。これから先、手術室、心臓カテーテル、ペースメーカー、透析、集中治療室、高気圧酸素業務など既存の業務に加え種類も増加していくと予想される中で私たち臨床工学技士は特定業務の専門なのか、またはどの業務もコンスタントにこなせる技士を目指すべきなのかをディスカッションできればと思考中です。

第1回大会から第3回大会までは会員の交通手段や移動時間などを考慮し、会場は東京医療センターにて開催することを全国国立病院機構臨床工学技士協議会理事会にて決定していますが、今大会はその最終年であり北は北海道から南は沖縄まで交通手段など参加しやすい東京ですので、多くの会員の皆様に参加して頂き有意義な時間を共有できればと期待しています。

第3回全国国立病院機構臨床工学技士協議会学術大会
大会長 呉医療センター 原 和信

【演題募集】

募集期間：2015年11月16日～2016年02月08日

【学術大会事務局】

国立病院機構 西埼玉中央病院
医療機器管理室 佐藤正道
TEL:042-948-1111(代表)
E-mail:satoma@wsh.hosp.go.jp